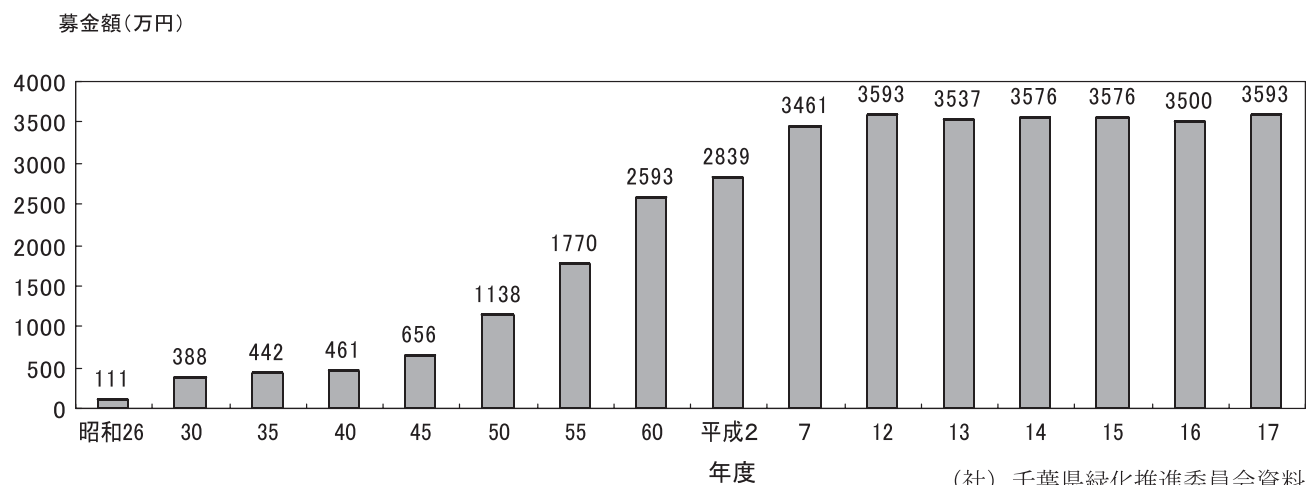


8. 環境緑化

緑の募金実績



－ 県民参加の緑づくりを進める －

森林に代表されるみどりは、その恵みを通じて私たちの暮らしをさまざまな面から支えてくれており、県民のみどりに対する関心は大きな高まりを見せています。

このような県民の関心に応え、みどりづくりに対する県民の参加と普及・啓発を図るため、県と社団法人千葉県緑化推進委員会は、全国緑化キャンペーン期間中(3/1～5/31)の「みどりの週間(4/23～4/29)」や「みどりの日(4/29)」に多彩な行事を展開している。

「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例(里山条例)」に定められた「里山の日」の行事として、第2回里山フェスティバルを5月の里山月間中に開催し、県民のみどりづくりの意識の高揚に努めた。

この期間中には、「里山と子供」をテーマに我孫子市で開催された市民団体によるシンポジウムや県内6箇所で開催した里山体験に多くの県民が参加し、県民の里山の保全活動についての理解を深めることができた。

里山条例の推進母体である「ちば里山センター」では、里山活動団体のネットワークを構築するとともに技術講習会や里山1日活動体験などのイベントの開催、里山相談や「ちば里山新聞」の発行などの事業を行い、里山活動団体の支援と県民の里山活動への参加を促進した。

土地所有者による管理が困難となった森林などの里山の情報を収集し、里山活動団体などに提供する「里山情報バンク」制度を創設し、荒廃が進む里山の整備の促進を図った。

これらの事業の結果、県が里山活動団体との間で締結した里山活動協定の認定数は、平成17年度末現在で55件となった。

また、戦後の山林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は、平成7年度制定された緑の募金法により緑の募金が新たに始まり、平成17年募金実績は35,933千円で、寄せられた浄財は、各種の緑化事業に役立てられている。

さらに、社団法人千葉県緑化推進委員会は、緑化推進事業の安定的な遂行のため、千葉県緑化基金(目標額2億円)の造成をすすめている。